（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	関わり人口創出のための奈川ツーリズム育成事業
事業主体 （連絡先）	（一社）松本市アルプス山岳郷 0263-94-2221
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大（ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,184,500 円（うち支援金：2,547,000 円）

事 業 内 容

奈川地区において、野麦古道や農体験等、令和６年度に造成した観光コンテンツを対象に、地域事業者・行政・旅行会社・有識者が参加する体験会および検証を実施した。
体験後の検討会や専門家からの助言を通じ、体験価値の再整理と受入体制の課題を明確化するとともに、エージェントトリップやプロモーションを行い、販売を見据えた商品仕様や訴求軸を整理した。
周辺観光地と連携した周遊型商品化を見据え、地域協働による持続可能なツーリズムモデルの構築を図った。

【fam ツアーの様子】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

Ⅰ.体験会と検討会を通じ、地域関係者間で役割分担と連携の方向性が共有され、体験提供に対する当事者意識と参画意欲の醸成につながった。
Ⅱ. AGT や宿泊事業者から周遊型商品に関する提案が得られ、商品設計の方向性が明確となった。
Ⅲ. 有識者などの助言により、体験価値の訴求点と受入時の配慮事項が整理され、運営改善の基盤が整った。
Ⅳ. 宿泊と体験を組み合わせた商品化や販路構築の方向性が示され、地域事業の収益化に向けた検討を行った。

【目標・ねらい】

Ⅰ.地域住民参画による持続的な運営体制構築
Ⅱ.周辺観光地と連携した広域周遊型商品の確立
Ⅲ.インバウンド市場対応力の高い商品の高度化
Ⅳ.観光を通じた地域事業の収益化と可視化

※自己評価【　A　】

【理由】
・商品化に向けた共通認識を形成できた
・体験価値と受入課題を明確化できた
・販路開拓の方向性を整理できた
・次年度販売の基盤を構築できた

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

本事業で整理した体験価値や受入課題を踏まえ、次年度以降はインバウンド市場での販売を見据えた商品内容の磨き上げを進める。あわせて、地域宿泊施設との連携を強化し、宿泊と体験を組み合わせた商品造成を推進する。さらに、地域ランドオペレーターやエージェントと連携した販路拡大に取り組み、ツアー販売による収益化を通じた財源確保と、持続可能な事業運営を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある